

1. MemsONE での操作手順の原則

MemsONE では、

立体（複合面）作成

材質設定

メッシュ分割

の手順で操作し、 の立体データの変更が発生した場合は、 の再設定を行うことを原則とします。

2. 集合演算コマンド後の状態と対応

立体 / 集合演算コマンド（和、差、積、切断分離、複合面結合）で、立体が変形（和、差、分離、結合）した場合、元来付いていた材質情報やメッシュデータは以下の状況となります。

2.1 材質情報

集合演算の基準となる立体（内部的に複合面 ID が引き継がれる立体で、通常は、集合演算の最初に指示した立体が該当します）に関しては、材質情報が引き継がれます。

基準以外の立体に関しては、材質情報（正確には材質領域情報）が消滅します。

引き継がれる材質情報と、消滅する材質情報に関しては、材質番号単位の表示 ON/OFF 機能により確認してください。また、消滅する材質情報に対しては、再設定を行ってください。

2.2 メッシュデータ

立体集合演算後、作成済みメッシュデータはそのまま残っています。

このため、立体の変更があった場合は、必ず、作成済みのメッシュを削除し、再度、メッシュ分割を行ってください。

以上